

科目 1

科目名	経営学概論 Survey of Business Administration		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・土・集中	-	-	-
担当教員名	東瀬 朗	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>本講義では「経営」が企業及び組織の運営に果たしている役割を論じることを通じて、経営学で取り扱う各分野への導入を行う。特に、組織と戦略の関係にスポットを当て、経営大学院において考えるべき各種課題について議論を行う。</p> <p>本講義の履修を通じて、経営学及び経営管理の役割の概要を把握し、個別テーマの学修の基礎を身につけることが期待される。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学及び経営管理の役割の概要を把握すること ・経営大学院において考えるべき各種課題について横断的な理解を深めること ・「経営」が企業及び組織の運営に果たしている役割を理解すること <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>ケースを用いたケースディスカッションを3テーマ（計6回）実施する。</p>				
<p>1 回目： <経営学の基礎・経営管理とは何か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：現代の企業及び組織において「経営」が果たしている役割を概説する。 <p>2・3 回目： <経営管理に求められる機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：経営における「戦略系」「実行系」「数値系」3つの機能について説明を行う。 <p>4 回目： <小規模組織における経営管理の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：中小企業など、組織の規模が小さい場合に、経営管理の役割がどのように変化するかの議論を行う。 <p>5・6 回目： <戦略と判断：ケース討議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：ソフトバンク株式会社創業期の事例を元に、経営における戦略と判断の役割についてグループ及び全体で討議を行う。 <p>7 回目： <戦略と判断：講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：討議の結果を踏まえ、経営戦略と経営判断の関係について講義を行う。 <p>8 回目： <戦略に基づいた目標のデザイン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：企業経営における「目標」をどのように設計するか、良い目標とは何かについて講義を行う。 <p>9・10 回目： <インセンティブ設計：ケース討議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：「青色 LED 訴訟」と「知的障害者中心の工場」、2つの事例より、組織におけるインセンティブ設計をどのように行うべきかについてグループ及び全体で討議を行う。 <p>11 回目： <インセンティブ設計：講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：討議の結果を踏まえ、組織におけるインセンティブ設計のあり方について講義を行う。 <p>12 回目： <組織文化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：組織文化が経営管理に与える影響及び、組織文化をどのように理解するかについて講義を行 				

う。

13・14 回目：＜組織文化と組織の変革：ケース討議＞

・要点：ヤフー株式会社の事例を元に、組織及び組織文化の変革をどのように進めればよいかグループ及び全体で討議を行う。

15 回目：＜組織文化と組織の変革：講義＞

・要点：討議の結果を踏まえ、組織及び組織文化の変革の進め方について講義を行う。

＜講義の進め方＞

講師からの講義に加え、ケースを用いたケース討議を行う。ケース討議には事前予習課題を課す。

ケース討議は、講義冒頭で講師より討議の概要を説明した後、グループに分かれケースの内容及び講師より提示するケース設問について議論を行う。グループ討議終了後、全体討議を行いグループ討議の内容を共有する。グループ討議及び全体討議の時間配分については、講義内容に合わせ適時指示を行う。

＜事前事後学修内容＞

ケース討議を行う場合は事前予習課題を課す。その他必要な事前学習に関する詳細については別途講義内にて指示を行う。

＜予習・復習時間＞

各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をします。

＜教科書及び教材＞

慶應ビジネススクール作成の下記ケースを利用する。授業の履修には、ケースの購入を前提とする。なお、ケースの購入方法については、履修登録後に別途案内を行う。

- ・孫正義のリーダーシップ…ルール・ブレイカーか、ギャンブラーか ¥1,210
- ・ヤフー株式会社 2013 高業績企業の企業変革 ¥880
- ・日本理化学工業株式会社 ¥660
- ・青色LED訴訟・2004年200億円判決 ¥495

＜参考書＞

山根節著：戦略と組織を考える－MBAのための7ケース 中央経済社

山根節著：MBAエグゼクティブズ 中央経済社

E.H. シャイン著 金井壽宏監訳：企業文化 生き残りの指針 白桃書房

伊丹 敬之・加護野 忠男著：ゼミナール 経営学入門 日本経済新聞社

＜成績評価方法＞

学期中課題3：最終レポート3：授業への貢献4の比率で評価を行う。

＜課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法＞

原則講義内でフィードバックを行う。必要に応じて Teams 等を活用する。

＜履修条件＞

授業内の討論を重視しているため、討議に積極的に参加する意志があること。

<ディプロマポリシーとの関連>

基礎知識の学修に該当

<録画映像の視聴> 可

<オフィスアワー>

受講生の面談が重複しないように、E-mailにてアポイントを取ること。

<その他>

講義内の討議を重視しますので、ケース討議の前にケースを十分に読み込み、議論に積極的に参加することを期待します。

変則的な日程での開講となるため、開講曜日・時限に注意すること。